



平成29年11月14日

各位

会社名 株式会社中村超硬  
代表者名 代表取締役社長 井上 誠  
(コード: 6166 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役社長室長 増田 宏文  
(TEL. 072-274-1072)

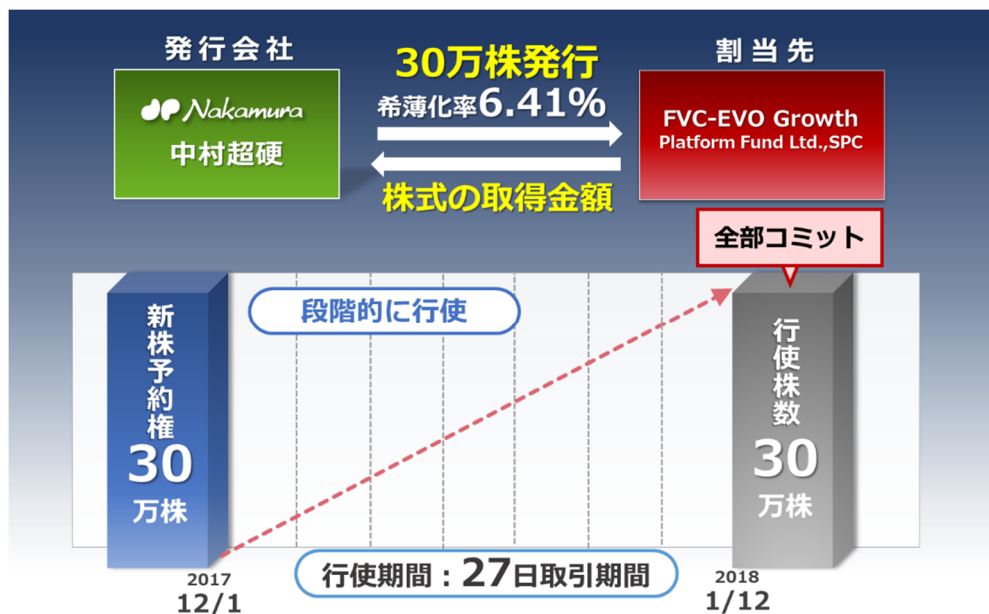
**第三者割当により発行される第5回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び  
新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー)の締結についての補足説明**

当社は、平成29年11月14日開催の取締役会において決議いたしました、FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd., SPC (以下「GPF」といいます。)を割当予定先とする第5回新株予約権(以下「本新株予約権」といいます。)の発行による資金調達(以下「本資金調達」といいます。)に関しまして、補足説明資料を作成いたしましたのでお知らせいたします。なお、本資金調達の詳細につきましては、本日(平成29年11月14日)発表の「第三者割当により発行される第5回新株予約権(行使価額修正条項付き)の発行及び新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー)の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

**本資金調達の特徴**

- ・コミット・イシュー採用による調達確実性の向上

GPFは、本新株予約権の対象となる当社普通株式の発行予定株数 300,000 株について、原則として、**本新株予約権の発行日翌取引日から、平成30年1月12日(当該発行日翌取引日から27価格算定日目の日)**までに本新株予約権の全てを行使(全部コミット)する為、資金調達の確実性を向上させ、資金使途へ着実に充当させることが可能となります。



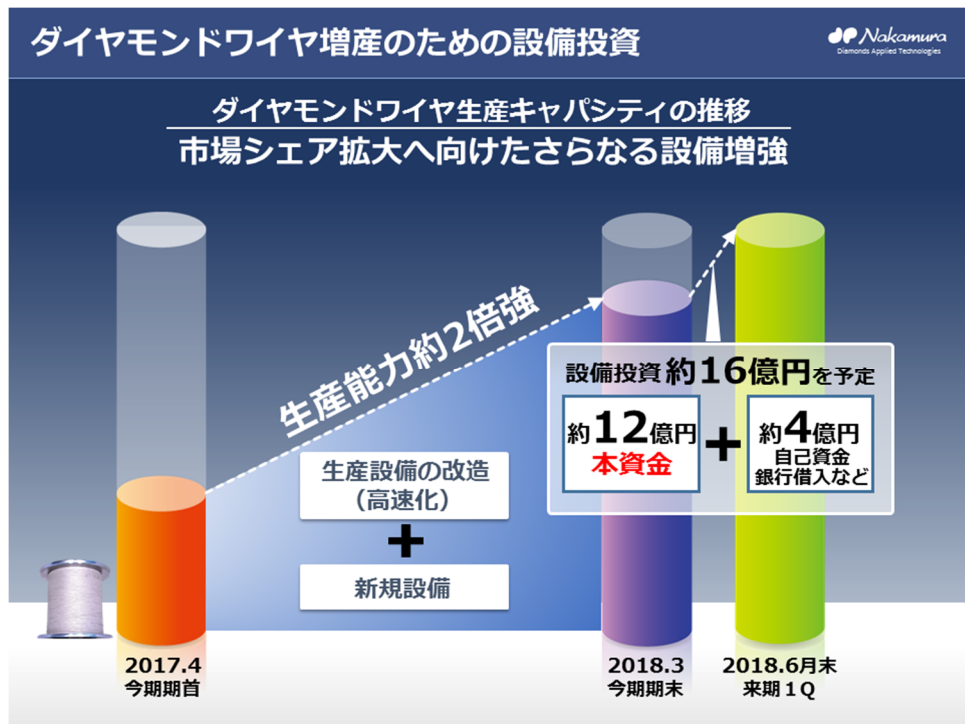
※上記は新株予約権の行使のイメージ図であり、実際の新株予約権の行使結果とは異なる可能性があります。

## 本資金調達の資金使途

当社は、下記2つの資金需要に対応すべく、本資金調達を実施いたします。

### ① ダイヤモンドワイヤ増産のための設備投資：約1,200百万円

本件設備投資は、今後見込まれる顧客からの需要拡大に備えることを目的として、大阪府和泉市及び沖縄県うるま市の当社工場の製造設備につき、ダイヤモンドワイヤの生産能力を段階的に増強するための設備投資費用として、平成29年12月から平成30年4月頃までに約16億円を支出することを予定しておりますが、そのうちの約12億円について調達資金を充当いたします。



### ② ペプチスター株式会社への出資金：200百万円

ペプチスター株式会社（以下「ペプチスター」といいます。）は以下の図に記載の主要3社の合併にて平成29年9月に設立されましたが、設立後も順次増資が計画されており、オールジャパン体制(主要3社の他、当社を含めた複数社が参画予定)で様々な最先端技術の集約による高品質特殊ペプチド原薬の低コストかつ安定供給体制の確立に向けての検討が進められております。ペプチスターは平成29年9月の設立以降、順次増資を計画していますが、今後当社を含む複数社が出資に応じる予定となっており、当社としても、ペプチスターへの出資を行うことで、ライフサイエンス事業におけるマイクロリアクター関連技術を活かした特殊ペプチド原薬の安定的な供給体制の確立に寄与してまいりたい所存です。具体的な出資時期及び出資金額については、現時点では、平成30年1月から平成30年3月にかけて2億円を支出することを想定しております。



当社は、本資金調達には他の資金調達方法との比較等、十分な検討を経た上で、当社の直面する状況に適した手法であると判断いたしました。また、本資金調達は一定の希薄化を伴いますが、上記資金使途に調達資金を充当する事で、中長期的に企業価値の向上に貢献するものと考えております。

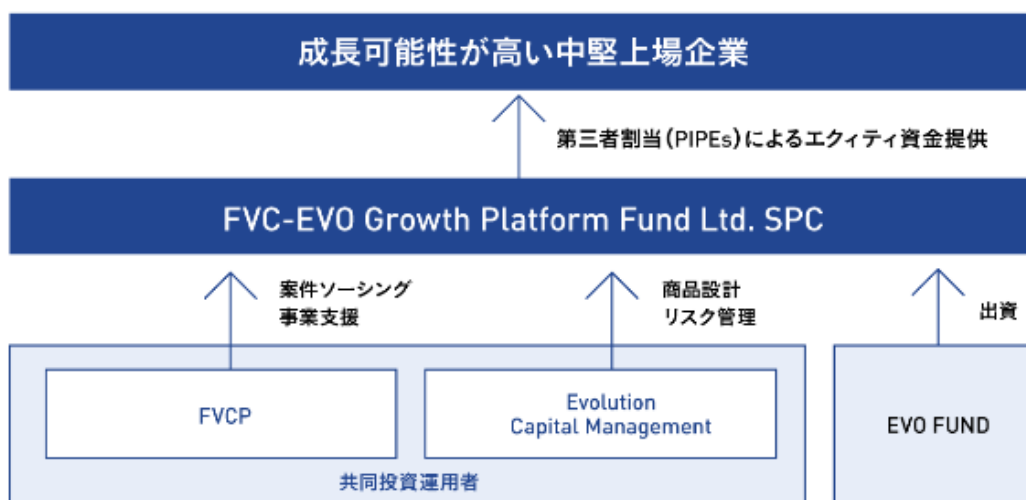
### 本資金調達の割当予定先

本資金調達における割当予定先である GPF は、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：松本直人、以下「FVC」といいます。）、及び日本株投資運用業務を主軸とした米国金融グループ Evolution Financial Group（以下「EVO グループ」といいます。）傘下の Evolution Capital Management LLC（本社：米国カリフォルニア州、代表社員：マイケル・ラーチ（Michael Lerch））の2社が、日本国内の中堅上場企業を投資対象として共同で設立した投資ファンドであります。

GPF の共同投資運用者（Joint Investment Managers）は FVC の子会社である株式会社 FVCP（本社：東京、代表取締役：松本直人、以下「FVCP」といいます。）及び Evolution Capital Management LLC であり、案件ソーシング・事業支援業務は FVCP が主導し、商品設計・リスク管理業務は Evolution Capital Management LLC が担います。

また、GPF の投資資金につきましては、EVO グループの旗艦ファンドである EVO FUND が向こう5年間にわたり総額 200 億円の出資コミットメントをしております。

（ご参考：<https://www.fvc.co.jp/news/1668.html>）



以上